平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名　株式会社　不二家　　上場取引所　東
コード番号　2211　URL　http://www.fujiya-peko.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 櫻井　康文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事本部長　(氏名) 河村　宣行　TEL 03-5978-8100

四半期報告書提出予定日　平成24年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	43,151	2.5	368	100.5	538	58.8	286	―
23年12月期第2四半期	42,099	―	183	―	338	―	△46	―

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　496百万円　(―%)　23年12月期第2四半期　△26百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	1.11	―
23年12月期第2四半期	△0.18	―

当社は、平成22年12月期より決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更をしております。これに伴い、平成23年12月期第2四半期(1月から6月まで)と、比較対象となる平成22年12月期第2四半期(4月から9月まで)の月度が異なるため、平成23年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	49,189	25,940	52.3
23年12月期	53,034	25,443	47.7

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　25,723百万円　23年12月期　25,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00			
24年12月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,500	3.3	1,800	72.7	2,500	37.7	2,000	267.1	7.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	257,846,590 株	23年12月期	257,846,590 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	80,349 株	23年12月期	80,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	257,766,241 株	23年12月期2Q	257,766,648 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……5
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書 ……8
四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年１月１日～６月30日）のわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要や個人消費の持ち直しが内需を支え、景気は緩やかに回復し始めました。しかしながら、当社グループが属する食品業界におきましては、消費者の節約指向に対応した低価格競争の激化や、原油高による包装材料の値上げ、物流費のコストアップが収益を圧迫し、さらに、第２四半期以降、消費者の購買意欲に低下傾向が現れるなど、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、洋菓子事業におきましては、上質でお買い求めになりやすい1,000円シリーズ商品を継続的に拡販するとともに、さらなる販売増を目指し、タレントを起用した販売促進策を展開しました。また、店舗開発につきましては、新たな地域への開発を推進した結果、店舗数は前年同期に比べ増加しました。さらに、新規販路を確立すべくコンビニエンスストア向けの商品を積極的に開発、販売することにより売上の拡大を図りました。

製菓事業におきましては、バレンタインデーや母の日を中心とした催事に継続的に取り組むとともに、企業間コラボレーションや、自社ブランドを活用した商品を積極的に開発、拡販し、売上拡大に努めました。また、発売50周年を迎えた「ルック」ブランドの浸透を図るため、製菓部門のみならず、洋菓子部門や山崎製パン株式会社とも積極的にコラボレーションを行い、売上に貢献しました。

以上の結果、売上高は431億51百万円(前年同期比102.5%)となりました。

損益面では、低価格競争の激化により販売促進費は増加したものの、徹底したコスト削減と積極的な製品開発、営業活動を実行したことによる売上の増加が生産性を向上させ、おかげさまで収益は大幅に増加しました。特に、洋菓子事業における単体及び連結子会社２社（株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャポン）の収益が改善し、その結果、営業利益は３億68百万円（前年同期比200.5%）、経常利益は５億38百万円（前年同期比158.8%）、四半期純利益は２億86百万円（前年同期に比べ３億33百万円の改善）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第２四半期連結累計期間 平成24年１月 1日から 平成24年６月30日まで		前第２四半期連結累計期間 平成23年１月 1日から 平成23年６月30日まで		前年 同期比	増減
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	10,161	23.6	9,874	23.4	102.9	286
	レストラン	3,297	7.6	3,138	7.5	105.1	158
	計	13,459	31.2	13,013	30.9	103.4	445
製菓事業	菓　子	26,310	61.0	25,514	60.6	103.1	795
	飲　料	2,679	6.2	3,025	7.2	88.6	△345
	計	28,990	67.2	28,540	67.8	101.6	450
その他		701	1.6	545	1.3	128.5	155
合　　計		43,151	100.0	42,099	100.0	102.5	1,051

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

＜洋菓子事業＞

洋菓子チェーン店におきましては、消費者の低価格志向に対応すべく、「ミルキークリームロール」をはじめとする上質でお買い求めになりやすい1,000円シリーズ商品のさらなる拡販を目指し、タレントのローラさんを起用した販売促進策を展開しました。また、「ペコちゃんのほっぺ」などのおやつ菓子商品の販売増を目指し、「６個で500円セール（おやつ菓子プラスワンセール）」などの営業施策を積極的に展開するとともに、バレンタインデー、雛まつり、母の日などの催事に取り組み、売上の拡大に努めました。また、店舗開発につきましては、引き続きショッピングセンターなどへの出店を行うとともに、鳥取市への開発を進めた結果、当第２四半期連結会計期間末店舗数は686店舗となりました。

さらに、伸長しているコンビニエンスストアのスイーツ事業に対応した商品を積極的に開発し、市場を開拓した結果、「レーズンサブレ」などの焼菓子販売が好調に推移し、売上増加に寄与しました。

この結果、洋菓子販売の売上は前年同期を上回ることができました。

高級洋菓子を取り扱うダロワイヨは、雛まつり、お彼岸、母の日といった日本文化を取り入れた催事に対応した商品を積極的に展開し、売上増に結びつけるとともに、四角いシュークリーム「シューキューブビック」など新製品の販売が好調に推移しました。さらに、郵政のカタログや東京スカイツリーへの商品提案を行なったことも売上増加に寄与し、売上は前年同期を上回ることができました。

この結果、ケーキ等の洋菓子類の売上高は、101億61百万円（前年同期比102.9%）となりました。

レストランにおきましては、低価格競争に対応した美味しく、お得で満腹感を味わえる999円のスペシャルセットメニューを積極的に展開し、ご好評を得ております。また、ご家族の団らんの場としてご利用いただいている「バースデーサービス」に継続的に取り組むとともに、店内製造のフレッシュ感あふれるケーキを新たに加えた「ケーキバイキング」などの営業施策が効を奏し、売上は着実に伸長しました。

この結果、レストランの売上高は、32億97百万円（前年同期比105.1%）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は、134億59百万円（前年同期比103.4%）となりました。

＜製菓事業＞

菓子におきましては、基幹ブランドのミルキーに新食感の「90ｇサクサクミルキー」を新たに投入し、売上の拡大を図るとともに、不二家独自の技術を活かした「カントリーマアム」や「22本ポップキャンディ」の販売強化に努めました。また、バレンタインデーや母の日といった催事にも積極的に取り組み、「ハートチョコレート」を中心に拡販しました。

３月には「ルック発売50周年キャンペーン」と連動して、洋菓子部門や山崎製パン株式会社との強力なコラボレーションによる販売促進を小売店で実施したため、「12粒ルック（ア・ラ・モード）」などの「ルック」ブランド商品の売上は、前年同期を上回ることができました。さらに、コンビニエンスストア向けや駅売店など業種、業態に対応した新製品を開発、販売したことも、売上拡大に貢献しました。

在外子会社である不二家（杭州）食品有限公司につきましては、販売エリアを発展著しい内陸部へ拡大したことにより、主力商品である「ポップキャンディ」の売上がさらに好調に推移し、前年同期を上回りました。

この結果、菓子の売上高は、263億10百万円（前年同期比103.1%）となり、前年同期を上回ることができました。

飲料におきましては、販売提携先拡大により、基幹商品である「ネクターピーチ」の自動販売機での取扱いが増加しましたが、昨年においては東日本大震災の特需や猛暑による需要増があったため、その反動で売上は前年同期を下回りました。

この結果、飲料売上高は、26億79百万円（前年同期比88.6%）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、289億90百万円（前年同期比101.6%）となりました。

＜その他＞

主に株式会社不二家システムセンターの事務受託業務や、不動産事業のテナントからの賃貸収入及び通販・キャラクター事業部の売上により、売上高は７億１百万円（前年同期比128.5%）となりました。

なお、平成24年６月11日未明の当社埼玉工場における一部製造ラインの火災におきまして、近隣居住の皆様、株主の皆様、お取引先の皆様をはじめとする多くの方々に、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。幸い、従業員をはじめとする人的被害もなく、物的被害も軽微であったことから、短期間で工場を再開させ、業績への影響を最小限に抑えることができました。今後は、グループを挙げて防災体制を見直し、再発防止に向けて万全を期してまいりますので、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は214億45百万円で、主に売掛債権やたな卸資産の減により前連結会計年度末に比べ36億14百万円減少いたしました。固定資産は277億44百万円で、主に有形固定資産や前払年金費用の減により、前連結会計年度末に比べ２億30百万円の減少となりました。

この結果、総資産は491億89百万円で前連結会計年度末に比べ38億44百万円減少いたしました。

また、流動負債は159億16百万円で、主に仕入債務や未払金の減により前連結会計年度末に比べ31億５百万円減少いたしました。固定負債は73億32百万円で、主に長期借入金や長期未払金の減により前連結会計年度末に比べ12億35百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計232億49百万円で、前連結会計年度末に比べ43億41百万円減少いたしました。

純資産は259億40百万円で、主に四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ４億96百万円増加いたしました。

次に、当第２四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、38億88百万円となりました。これは主に売上債権の減少やたな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、12億80百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、４億58百万円となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

以上の結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、93億45百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年２月９日に発表した予想の変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,331	9,429
受取手形及び売掛金	12,280	7,527
商品及び製品	3,068	2,392
仕掛品	291	303
原材料及び貯蔵品	1,797	1,392
繰延税金資産	31	32
その他	618	696
貸倒引当金	△359	△329
流動資産合計	25,060	21,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,595	6,583
機械装置及び運搬具（純額）	6,246	5,963
土地	2,847	2,847
リース資産（純額）	1,586	1,472
その他（純額）	637	946
有形固定資産合計	17,913	17,814
無形固定資産	320	290
投資その他の資産		
投資有価証券	6,031	6,141
繰延税金資産	48	48
敷金及び保証金	2,222	2,220
前払年金費用	1,117	904
その他	535	544
貸倒引当金	△213	△220
投資その他の資産合計	9,740	9,639
固定資産合計	27,974	27,744
資産合計	53,034	49,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,296	4,547
短期借入金	4,404	4,793
1年内償還予定の社債	354	354
リース債務	396	405
未払金	4,666	3,199
未払法人税等	286	182
賞与引当金	254	275
店舗閉鎖損失引当金	12	12
その他	2,349	2,145
流動負債合計	19,022	15,916
固定負債		
社債	1,333	1,156
長期借入金	2,277	1,837
リース債務	1,339	1,215
退職給付引当金	1,485	1,376
負ののれん	1	0
長期未払金	1,641	1,270
その他	489	475
固定負債合計	8,568	7,332
負債合計	27,590	23,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	5,070	4,065
利益剰余金	2,196	3,487
自己株式	△14	△14
株主資本合計	25,531	25,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△178	△84
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	△34	△7
その他の包括利益累計額合計	△217	△94
少数株主持分	129	216
純資産合計	25,443	25,940
負債純資産合計	53,034	49,189

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	42,099	43,151
売上原価	23,009	23,091
売上総利益	19,090	20,059
販売費及び一般管理費	18,906	19,691
営業利益	183	368
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	21	20
持分法による投資利益	125	149
その他	91	84
営業外収益合計	246	263
営業外費用		
支払利息	60	58
その他	30	34
営業外費用合計	90	93
経常利益	338	538
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6	－
保険差益	－	78
その他	－	0
特別利益合計	6	79
特別損失		
固定資産廃棄損	40	112
貸倒引当金繰入額	8	－
災害損失	169	－
その他	6	0
特別損失合計	224	112
税金等調整前四半期純利益	121	504
法人税、住民税及び事業税	140	142
法人税等調整額	△11	△0
法人税等合計	128	142
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7	362
少数株主利益	39	76
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△46	286

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	92
為替換算調整勘定	9	37
持分法適用会社に対する持分相当額	9	4
その他の包括利益合計	△18	133
四半期包括利益	△26	496
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68	409
少数株主に係る四半期包括利益	42	86

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	121	504
減価償却費	1,583	1,489
持分法による投資損益（△は益）	△125	△149
災害損失	169	－
売上債権の増減額（△は増加）	5,070	4,731
たな卸資産の増減額（△は増加）	759	1,077
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,650	△1,757
未払金の増減額（△は減少）	△1,614	△1,400
その他	△428	△512
小計	3,884	3,982
利息及び配当金の受取額	230	204
利息の支払額	△62	△60
法人税等の支払額	△94	△237
災害損失の支払額	△69	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,888	3,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△76	△1
定期預金の払戻による収入	150	63
投資有価証券の取得による支出	△3	△32
固定資産の取得による支出	△1,585	△1,321
固定資産の売却による収入	16	4
その他	30	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,469	△1,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	34	260
長期借入れによる収入	1,216	－
長期借入金の返済による支出	△768	△310
社債の償還による支出	△177	△177
割賦債務の返済による支出	△28	△27
リース債務の返済による支出	△208	△203
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	67	△458
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,488	2,158
現金及び現金同等物の期首残高	6,517	7,187
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	85	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,091	9,345

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,013	28,540	41,554	545	42,099	―	42,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	285	285	335	621	△621	―
計	13,013	28,825	41,839	881	42,721	△621	42,099
セグメント損益(△は損失)	△548	1,764	1,216	92	1,308	△1,125	183

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２ セグメント損益(△は損失)の調整額△1,125百万円には、固定資産減価償却費の調整額９百万円、その他の調整額13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,148百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３ セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,459	28,990	42,449	701	43,151	―	43,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	302	302	321	624	△624	―
計	13,459	29,293	42,752	1,023	43,775	△624	43,151
セグメント損益(△は損失)	△206	1,641	1,434	102	1,537	△1,169	368

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２ セグメント損益(△は損失)の調整額△1,169百万円には、固定資産減価償却費の調整額９百万円、その他の調整額２百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,181百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３ セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。